

## 外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

### ジンバブエへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2024年12月18日（継続/内容の更新）

全 土	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。
-----	--

#### 【ポイント】

- 強盗や窃盗などの犯罪に遭遇する危険が常にありますので、犯罪に対して警戒を怠らないなど、十分注意してください。
- デモ発生時には、銃器等を使用した治安当局による厳しい取締りが予測されるため、巻き込まれないように十分注意してください。

#### 【概況】

- (1) ジンバブエは、失業率が高止まりする等、経済的に不安定な状況が続いており、野党及びその支持者が中心となり、政治的、経済的問題を理由にデモが発生しています。デモが発生した際には治安当局による対応は厳しくなることが予想されます。  
過去の事例では、2018年の大統領及び国会議員選挙期間中、政治情勢をめぐり、一時、治安が不安定な時期がありました。2019年には、燃料価格の引き上げを発表したことに端を発し、首都ハラレ市を始めとする多くの都市でデモが発生し、少しでもデモ隊に暴徒化の兆しが確認されると、治安当局による放水車や催涙弾を使用した鎮圧が行われ、複数の死傷者や逮捕者が出ました。  
こうした情勢を踏まえ、公共の場での政治的な言動は控えることをお勧めします。また、大統領官邸や軍関係施設周辺での写真撮影は厳禁となっており、空港等の公共施設周辺での写真撮影も控えることをお勧めします。渡航・滞在中には、現地の情勢に関する最新情報を入手するよう心掛けるとともに、常に慎重な行動をとるようにしてください。
- (2) 一般犯罪の発生率は日本の十数倍と言われており、日中でも、強盗や窃盗の犯罪が日々発生しています。また、犯罪者等は、アジア人はお金を持っていると考えているため、日本人は犯罪のターゲットになりやすいことを認識し、貴重品を肌身離さず保管するなど、常に犯罪被害に遭わないよう留意して行動する必要があります。  
警察によるパトロール活動の範囲や頻度は極めて限定的で、また、犯罪発生後現場に到着するまでに1時間以上要することも度々あることなどが、犯罪が減少しない要因の一つとなっています。常に緊張感を持ち、犯罪に遭わないよう注意を怠らないことが重要です。

このようにテロはどこでも起こり得ること及び日本人が標的となり得ることを十分に認識し、テロの被害に遭わないよう、テロ・誘拐情勢（[海外安全ホームページ：テロ・誘拐情勢 \(mofa.go.jp\)](https://www.mofa.go.jp/oc/terrorism/)）を含む海外安全ホームページや報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp>  
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、  
外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903  
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306  
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047  
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。